



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東 大

上場会社名 森下仁丹 株式会社

コード番号 4524 URL <http://www.jintan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 駒村 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 武貞 文隆

TEL 06-6761-1131

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,466	9.9	253	—	262	—	328	—
23年3月期第3四半期	5,883	1.7	△17	—	△5	—	△21	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 370百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △51百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.16	—
23年3月期第3四半期	△1.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,169	7,553	67.6
23年3月期	10,415	7,234	69.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,553百万円 23年3月期 7,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	9.9	300	233.3	400	281.5	400	404.1	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	20,750,000 株	23年3月期	20,750,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	402,740 株	23年3月期	400,467 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	20,348,202 株	23年3月期3Q	20,351,746 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は当月8日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンや生産設備の復旧も進み、消費の自粛も緩和され一部回復の動きが見られるようになりました。しかしながら欧米諸国の財政問題に端を発する世界景気や為替相場の高止まりなどにより、国内の雇用不安や景気の先行き不透明感など、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの属する健康関連業界も、健康意識の高まりは持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや業界内の競合激化により、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況下にあります。

このような状況のなか、当社グループとしてはヘルスケア事業並びにカプセル受託事業の各々の事業において積極的な諸施策・諸活動を展開してまいりました。その結果、売上高は、6,466百万円と前年同四半期と比べ582百万円(9.9%)増収となりました。

利益面においては生産効率の向上による原価率の低減による粗利益の改善が大きく、効果的なプロモーション活動など経費の効率化が図れたことから営業利益は、253百万円と前年同四半期と比べ271百万円増益となりました。また、営業外損益では、研究開発の補助金収入がプラス要因となり経常利益は、262百万円と前年同四半期と比べ268百万円増益となりました。

また、税制改正に伴う実効税率の変更により法人税等調整額が63百万円減少したことから、四半期純利益は、328百万円と前年同四半期と比べ349百万円増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、広告宣伝活動を主力商品「ビフィーナ」に集中し強化したこともあり、同商品の売上高は1,930百万円(前年同四半期比35.0%増)と引き続き順調に推移いたしました。競合の激しい緑茶青汁等他通販商品群は引き続き苦戦を強いられました。また、リテール分野では昨年より注力しているOTC医薬品や医療器具が好調に推移したこともあり、ヘルスケア事業の売上高は、4,659百万円と前年同四半期と比べ396百万円(9.3%)増収となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンと好調な「ビフィーナ」の販売が貢献し、セグメント利益は、108百万円と前年同四半期と比べ227百万円増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き好調に推移し、さらに円高の影響を受けつつも受託先及び受託量の拡大に努力したことにより、売上高は、1,756百万円と前年同四半期と比べ182百万円(11.6%)増収となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンに注力したことからセグメント利益は、164百万円と前年同四半期と比べ56百万円(52.9%)増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、11,169百万円と前連結会計年度末と比べ753百万円(7.2%)増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が、4,038百万円と前連結会計年度末と比べ364百万円(9.9%)増加となり、固定資産が、7,130百万円と前連結会計年度末と比べ388百万円(5.8%)増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金、並びに受取手形及び売掛金の増加であり、固定資産の増加の主な要因は滋賀工場の設備更新に伴う建設仮勘定の増加であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、3,615百万円と前連結会計年度末と比べ434百万円(13.7%)増加となりました。負債の内訳は、流動負債が、2,203百万円と前連結会計年度末と比べ576百万円(35.4%)増加となり、固定負債が、1,412百万円と前連結会計年度末と比べ141百万円(9.1%)減少となりました。流動負債の増加の主な要因は設備投資の支払手形・未払金及び支払手形及び買掛金の増加等であり、固定負債の減少の主な要因は長期借入金の約定返済及び繰延税金負債の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、7,553百万円と前連結会計年度末と比べ318百万円(4.4%)増加となりました。これは利益剰余金の四半期純利益による増加328百万円と、配当による減少50百万円及びその他有価証券差額金の増加41百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関する事項については、平成23年11月9日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,685	1,952
受取手形及び売掛金	881	1,013
商品及び製品	506	449
仕掛品	272	231
原材料及び貯蔵品	254	269
その他	80	130
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	3,673	4,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,592	2,489
機械装置及び運搬具(純額)	648	703
土地	2,025	2,025
建設仮勘定	12	386
その他(純額)	200	233
有形固定資産合計	5,479	5,838
無形固定資産	169	146
投資その他の資産		
投資有価証券	922	972
その他	178	180
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,093	1,145
固定資産合計	6,742	7,130
資産合計	10,415	11,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	898	973
1年内返済予定の長期借入金	100	100
未払法人税等	30	13
賞与引当金	102	60
返品調整引当金	16	18
その他	478	1,037
流動負債合計	1,626	2,203
固定負債		
長期借入金	650	575
繰延税金負債	531	472
退職給付引当金	312	324
その他	60	40
固定負債合計	1,554	1,412
負債合計	3,181	3,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	2,959	3,236
自己株式	△132	△133
株主資本合計	7,327	7,604
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	△92	△51
その他の包括利益累計額合計	△92	△51
純資産合計	7,234	7,553
負債純資産合計	10,415	11,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,883	6,466
売上原価	2,971	2,950
売上総利益	2,912	3,515
販売費及び一般管理費		
販売促進費	533	535
広告宣伝費	518	658
人件費	746	832
賞与引当金繰入額	29	34
退職給付引当金繰入額	26	29
貸倒引当金繰入額	5	7
その他	1,069	1,163
販売費及び一般管理費合計	2,929	3,262
営業利益又は営業損失(△)	△17	253
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	9
研究開発補助金	17	12
その他	5	6
営業外収益合計	33	27
営業外費用		
支払利息	14	12
その他	6	5
営業外費用合計	21	18
経常利益又は経常損失(△)	△5	262
特別利益		
投資有価証券売却益	18	—
償却債権取立益	1	—
販売権譲渡益	—	28
その他	0	—
特別利益合計	20	28
特別損失		
固定資産処分損	0	1
会員権評価損	7	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
その他	2	0
特別損失合計	11	9
税金等調整前四半期純利益	3	281
法人税、住民税及び事業税	23	15
法人税等調整額	0	△62
法人税等合計	24	△47
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21	328
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21	328

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△21	328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	41
その他の包括利益合計	△30	41
四半期包括利益	△51	370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51	370

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸 表上計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,263	1,573	5,837	46	5,883	—	5,883
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	191	191	△191	—
計	4,263	1,573	5,837	237	6,075	△191	5,883
セグメント利益又は損失(△)	△119	107	△12	△5	△17	—	△17

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸 表上計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,659	1,756	6,416	50	6,466	—	6,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	180	180	△180	—
計	4,659	1,756	6,416	231	6,647	△180	6,466
セグメント利益又は損失(△)	108	164	272	△18	253	—	253

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。